

■ 一般国道33号松山外環状道路インター線のIC・JCT名称が決定！

【松山河川国道事務所】

井門（いど）IC、古川（ふるかわ）IC、市坪（いちつぼ）IC、
余戸南（ようごみなみ）IC、松山（まつやま）JCT

国土交通省松山河川国道事務所が、平成16年度より事業を進めている一般国道33号松山外環状道路インター線（L=4.8km）における4箇所のインターチェンジ（以下ICと記す）と1箇所のジャンクション（以下JCTと記す）の名称を決定しましたのでお知らせします。

8月8日に開催した「標識分科会 愛媛県ブロック部会 外環インター線IC・JCT名称検討会」において検討した素案について、愛媛県、松山市に意見照会を行い同意が得られたことを踏まえ、この度正式に名称を決定しました。

■ 一般国道55号 阿南(あなん)道路の部分開通について

－阿南市津乃峰町西分（あなんしつのみねちょうにしぶん）

～橋町大浦(たちばなちょうおおうら)間が11月2日に開通します－

【徳島河川国道事務所】

徳島河川国道事務所が、小松島市及び阿南市における交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的として整備を進めている、一般国道55号阿南道路のうち、阿南市津乃峰町西分～橋町大浦間が開通します。

○開通予定日：平成25年11月2日（土）

○開通区間：阿南市津乃峰町西分～橋町大浦

○開通延長：L=1.7km（暫定2車線）

今回の開通により、周辺道路における交通が分散し、国道55号現道などの安全性の向上が期待されます。

阿南道路は、交通混雑の緩和等に向け、引き続き、那賀川大橋付近の暫定2車線供用中区間（阿南市那賀川町中島～阿南市西路見町江川間L=2.1km）の4車線化等を推進します。そのため、ご理解とご協力をお願いします。

■ ～下水道利用人口は約3万人増加しました～

－平成24年度末の四国地方の下水道整備状況について－ 【都市・住宅整備課】

四国地方整備局において、平成24年度末時点の四国地方における下水道整備状況を取りまとめましたので、結果をお知らせします。

下水道処理人口普及率

平成24年度末の四国地方の下水道処理人口普及率は、38.7%（平成23年度末38.0%）に上昇しました。処理区域内人口は約155万人となり、平成23年度末から平成24年度末の1年間に、約3万人が新たに下水道を利用できるようになりました。しかしながら、全国の下水道処理人口普及率76.3%(注)と比較して、依然として低い状況にあります。

四国内の普及率を県別に見ると、徳島県の16.3%は46都道府県(注)中46位であり、同じく44位高知県(34.9%)、42位香川県(43.1%)、38位愛媛県(49.9%)と全ての県が全国の下位ランクに位置しています。

四国地方整備局では、引き続き四国4県と計画的な下水道整備の促進に努めていきたいと考えています。

(注) 平成24年度末は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としています。

■「里海づくりの取組」を広域プロジェクトに位置づけ ～平成24年度 四国圏広域地方計画の進捗状況について～ 【企画部】

四国圏広域地方計画協議会は、「四国圏広域地方計画（平成21年8月策定）」で示した、四国圏の目指すべき姿の実現に向け、様々な施策を推進しているところです。

この度、平成24年度四国圏広域地方計画の進捗状況のとりまとめを行いましたので、お知らせいたします。

なお、今回のとりまとめにおきましては、“「里海」づくりの取組をリーディングプログラムとして位置づけたこと”や“指標の追加及びPDCA方式の点検結果を用いることによるマネジメント強化”を注目点としてあげております。

本資料につきましては、下記ホームページにてご覧下さい。

(<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kokudokeikaku/approach.html>)

■建設業の経営革新セミナーを開催します 【建政部】

四国地方整備局では、事業の再生、経営改善、新事業展開・新分野進出等に取り組む中小・中堅建設業者の皆様方を支援するため「建設業の経営革新セミナー」を下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、「建設業の再生支援・経営改善に向けて」をテーマに講演、事例紹介等を予定しております。

多数の皆様にご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

開催日時：平成25年11月7日（木） 14：00～16：30

開催場所：香川県高松市サンポート3番33号

高松サンポート合同庁舎低層棟2階 アイホール

※申し込み方法等詳細については、下記ホームページに掲載のチラシをご覧ください。

（

http://www.skr.mlit.go.jp/kensei/sangyou/01_kensetu/31-sinkousisaku/seminar_chirashi.pdf）